

一〇一五年度 A日程 国語 問題用紙 (I)

関西学院中学部 (一〇二五、一、一八)

一、次の文章をよく読んで問い合わせに答へなさい。

Q? 西洋蜜蜂も、日本蜜蜂のよう、スズメ蜂に対抗する手段をいすれ得るのでしようか？ (五三歳、男)

A! 日本には元々いる、ニホンミツバチの他に、明治の初めにどうにゅうされ、養蜂業の中心になつてゐる、セイヨウミツバチがいます。ニホンミツバチの方がやや小さく、色も黒っぽい。^注コロニーの規模も小さく、数千からせいぜい二万の個体からなるのに対し、セイヨウミツバチでは三万から数万。蜜集めの能力についてもセイヨウミツバチの方が圧倒的で、養蜂業に使われるのも当然です。

で、スズメバチに巣を襲われたとき、両者はまったく違つた対応をとることになります。

セイヨウミツバチの場合、¹襲つてくるオオスズメバチ (日本のミツバチにとつて一番問題となる) に対し、一匹一匹が応戦します。

(A)、何しろ相手は日本の昆虫界の王者。体長はミツバチの三倍くらい。大アゴが特に発達していて、毒針も強力、毒液も最強というから、勝ち目はありません。

次々と討ち死にし、たとえば三万の個体からなるコロニーが、たつた二〇〇三〇匹のオオスズメバチ軍団によつて二、三時間のうちに壊滅させられてしまいます。しかも彼らの狙いはコロニーの成虫を殺すことではなく、幼虫とサナギを持ち帰り、自分たちの幼虫のエサとすること。

では、ニホンミツバチはどうなのか。

オオスズメバチの接近に気づいたなら、徹底交戦などというバカな選択はしません。

戦略には二通りあつて、まず一、二匹の偵察役のオオスズメバチが巣の中に侵入してきた場合。ニホンミツバチは全員、巣の中に逃げ込みます。

しかし、まず、一、二匹の勇敢な連中 (と言つてもワーカー、つまり働きバチなのでメス) がオオスズメバチの唯一のきゅうしょである首の付け根に毒針を刺し込む。こうして少し弱らせたところで、いざ総攻撃。

何十、何百という数のワーカーがそいつをほういし、胸のきんにくを盛んに動かして熱を発する。こうして相手を蒸し殺しにするのです。うまくしたものでこうした蜂球の内部の温度は四八度くらい。オオスズメバチは死ぬが (四六度前後でアウト)、自分たちは死なない (五〇度くらいまでセーフ) という温度設定なのです。

この偵察役のオオスズメバチさえ殺せばコロニーは無事。何しろ、こいつはまだ仲間を呼ぶためのフェロモンを発していなければなりません。

でも、もし既に仲間を呼んでしまつていたのなら……。

そうなつたらもはや蜂球戦術は通用しません。もちろん個々に戦つて勝てる相手でもないので、この場合には女王バチも含め、逃げます。ニホンミツバチはこうして巣を明け渡し、幼虫もサナギも相手に譲るのですが、少なくとも全滅というじたいは免れる。ワーカーはまた新しいコロニーをつくればよいだけのことです。

なぜセイヨウミツバチはニホンミツバチのような対抗戦略を持つていないのでしょう？

答えは簡単です。

西洋にはオオスズメバチがない。オオスズメバチに匹敵する戦闘能力を持つ他のスズメバチもない。(B) 対抗戦略を進化させる必要がなかつた――。

(C) ようやく質問者が疑問に思つておられる、セイヨウミツバチが日本でオオスズメバチの脅威にさらされているうちに、い

ずれ対抗戦略を進化させるのだろうかという問題ですね。

実は、それこそがまさに、かつてニホンミツバチがオオスズメバチの脅威にさらされ続けた結果、対抗戦略を進化させるにいたつたのと同じ経過を辿るか否かの問題なのです。脅威にさらされればさらされるほど、より素早く、より強力な対抗戦略を進化させるはづです。

ところが……セイヨウミツバチは養蜂業者によつて、オオスズメバチの被害に遭わぬよう厳重に保護されている。養蜂業者にとっては、オオスズメバチからセイヨウミツバチをいかに守るかが最大の課題だからです。

そのようなわけでセイヨウミツバチがニホンミツバチのよだな対抗戦略を今後進化させるかと言えば、それはないと見えるでしょう。対オオスズメバチということではニホンミツバチの作戦勝ちです。(D)、ニホンミツバチとセイヨウミツバチが対戦したら、どうなるか？ 体の大きさはセイヨウミツバチの方がやや大きいけれど。

セイヨウミツバチは自分たちの巣の近くにニホンミツバチの巣があるとすると、(E) 数匹が訪れ、蜜が貯えられている部屋から蜜を吸い込み、巣へと帰つて来る。

そこでさつそく、例のミツバチダンスによつて「近くに蜜があるぞ」と仲間に知らせるのです。

6 こうなつたらもうダメ。ニホンミツバチの蜜は、^g たいきよして押し寄せたセイヨウミツバチたちに根こそぎ吸い取られます。最後には各人の胃の中の蜜までが、彼らのストローのよだな口で吸い上げられるといしまつ。その間、まったくの無抵抗です。

7 知患者ではなかつたのか？ とはいえた日本には古来、ニホンミツバチより大きめのミツバチがいなかつた。よつて対抗戦略をまだ

打ち出していいことなどなのでしょ。

敵あつてこそ対抗戦略は進化します。

注 コロニー II 集団ですんでいる場所。巣。

(竹内久美子『千寿子には見えていた! 透視は、あつても不思議はない』)

問一 —— a～h の部分を漢字に直しなさい (送り仮名が必要なものはそれも書く)。

問二 —— (A)～(E)に入る最も適当なことばを次の中から選んで、記号を書きなさい (同じ記号は一度以上使いません)。

ア では イ まず ウ しかし エ そこで オ よつて カ なぜなら

問三 筆者は、オオスズメバチに襲われたときによる行動以外に、四つの点からニホンミツバチとセイヨウミツバチを比較しています。その四つの点を、文中のことばをぬき出して、それぞれ三字、一字、七字、六字で答えなさい。

問四 —— 1、「襲つてくるオオスズメバチ」とあります、オオスズメバチはなぜ襲つてくるのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問五 —— 2、オオスズメバチに襲われたとき、セイヨウミツバチがどういう行動をとり、どんな結果になることを指して筆者はこう言っていますか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問六 —— 3、具体的にどうやつて偵察役のオオスズメバチを殺すのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問七 —— 4、何のためにこうするのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問八 —— 5、この問いに、筆者は「それはない」と答えていますが、その理由は何ですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問九 —— 6、どうなつたら「ダメ」ですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問十 —— 7、いつから日本にはニホンミツバチより大きめのミツバチがいるようになつたのですか。文中のことばを五字ぬき出して答えなさい。

二、次の文章をよく読んで問い合わせに答えなさい。

我が家にはいくつかのルールがある。それは本当にやさかで、当たり前のことが多い。例えば、食べ物は大切にいただくだとか、人の嫌がることはしないだとか、我が家のと**a**いうよりせけん一般のと**b**いう方がしつくりくるかもしれない。

ゲームに関しても、他の子供のいる家庭がそうであるように、しこう錯誤しながら我が家**c**どくじのルールにたどり着いた。それは、お父さんとお母さんと、家族三人で一緒にいる時だけやつてもいいというものだ。

「もしも友達と一緒にいる時に『ゲームしたい!』って言つたら、お友達が『あれ、せっかく一緒にいるのに楽しくないのかな?』と思つて悲しい気持ちになるからだよ」

と、その理由を息子に伝えた。それが合つてるかどうかはさておき、とりあえずはこれで上手くいっていた。息子も、美容室につき合つてくれた時や長時間移動の時、騒がずいい子にしていればゲームができるとわかり、彼の中でも規則ができてきただようだった。しかし先日、家族ぐるみで仲のいい知人の家に行つた時、私が友達と話し込んでいる間に、旦那と息子がそのルールを破つてしまつた。やけに静かだなと思つたら、隣の部屋で旦那が息子を膝に乗せてゲームをさせていたのだ。

その場はとりあえず楽しく過ごし、家に帰つてきた。さてどうしたもんかとしばし考え、私は旦那と息子の目の前で、ボウルに水を張つてゲーム機をポチヤンと沈めた。おお、こわ。

次の日、朝起きると身体がとても重く感じた。鏡に映つたすんだ自分の顔をじつと見つめると、怯えた男子二人の顔が頭に充満する。私は間違えていない、正しい判断だつた。ルールを破つた方が悪いのだから、罰がくだつて当然だ。しかし、なぜこんなに身体が重く感じるのだろう。ねつとりとした泥沼に足が(A)沈んでいくようだ。やることがたくさんあるのに、指先からも泥が滴り落ちて上手く物が掴めない。どうしてだろう、私は正しかつたはずなのに。

共働きだったからか、単なる性格なのか、母も父も厳しく子供たちをしつけていたように思う。食べ方、**A**の利き方、学校の成績、習い事の上達。

思い返せばそれは当たり前のことだ、とくだん厳しいことではなかつた。しかし今のような褒めて伸ばす教育がまだしゅりゆうではなかつた時代、可愛いだと大好きよだとか偉いねだとか、そう言つた前向きな言葉で**イ**を叩かれるというよりは、実際に頬を叩かれ拳骨が飛ぶ(しょつちゅうではなく、よほど私と姉が悪やをした時だけだつたが)、よく言えば古風なしつけ方だつたように思う。そんな中の治外法権タイムが、日曜日の夕方。

父・良男が

「ナオ、ドライブ行くかい?」

とか、

「ちょっと買い物行くけど、一緒に行くかい？」

と言つてくるのが合図で、私と父はちらりとウ配せし（時々は姉もいたけど、部活やら友達と一緒にやらないことが多い）た、何食わぬ工で

「ちょっと買い物行ってきまーす」

と、（B）二人で車に乗り込んだ。

一応その辺を（C）ドライブしたり、薬局に腰痛の湿布を買いに行つたりして出かける理由をきちんとこなしたあと、父は必ず（D）笑つてこう言つた。

「じゃ、行くかい？ ソフトクリーム」

浜島家のルールで、夕飯の前に甘いものを食べていけない、というのがあった。わざわざ書くと大げさだが、ごく当たり前なこと。お母さんが一生懸命作ってくれた料理をオペコで美味しい美味しいと食べることは、家庭という小さな社会で教えられる、人に対する礼儀であり、人生を豊かに楽しむ方法だと思う。だからこそ魅力的に見えてしまって、夕飯前のソフトクリーム。

いかんいかん、だってママは今頃、晩御飯の準備を始めているはず。残さないで食べないとママに怒られる。この前なんてさ、口いっぱいにモヤシを入れて飲み込めなくて、飲んだふりして二階のゴミ箱にペッと吐き出しに行つたら、黙つたまま後ろに仁王立ちしてたんだよ。なまら怖かった。鬼かと思ったよ。この世の終わりかと思ったよ。だから本当にやめたほうがいいことはわかってる。わかるてるんだよ。パパもわかるでしょ。

いつものケーキ屋さんはジャンボソフトクリームなるものがあつて、いつもそこで私と父は（E）考え込むことになる。それはもう、ソフトクリームを食べるか食べないかではなく、普通がジャンボかという選択に変わつていた。そして、目の前に立ちはだかる山には果敢に登らなければいけないと、私と父は毎回、自分に燃えながら真っ白いジャンボないただきに挑んだ。

あの時、父と私は悪ガキ二人になつていた。それは決して母を傷つけたいわけでもなく、食べ物を無駄にしたいわけでもなかつた。ただ人生の隙間に入り込み、手を繋いでキャッキャと眩しい世界を泳いでいた。親でも子でもなく、ルールやしつけもないその海の中で、

きれいな貝殻を拾つていただけだった。

貝殻を耳に当てたら、どんな音が聞こえるのだろうか。知りたい、知りたいよね。拾つてみようか。ワクワクするね。父の嬉しそうな顔がさらにくにやりと下がり、むくむくの手で私に貝殻を渡す。私は幸せになる。ウフフ、パパありがとう。

おそらく母は気づいていたと思う。父と私がこつそりソフトクリームを食べに行つてることはあるから、そこで生まれるワクワクも、将来これが私にとって愛された記憶に変わることも。

だから日曜の夕飯時、お腹いっぱいでもういらないと言つても、一度も咎めることはなかつたのかもしれない。（F）笑いながら。

私は、自分をかいほうすることにした。くすんだ自分の顔を見て、一番ルールに縛られていたのは私だと気がついたからだ。深呼吸して、鏡の中の自分に微笑んでみる。身体が軽い。そして今すぐ息子を抱きしめようと強く思った。

ルールは大切だけど、もつと大切なのは守つた時でも破つた時でも、白と黒のその先の、七色に光る貝殻の音に力^ナを澄ませてみるとことだ。

（浜島直子『蝶の粉』）

注 なまら＝「とても」という意味。

問一 ————— a～hの部分を漢字に直しなさい。

問二 （A）～（F）に入る最も適当なことばを次のなかから選んで、記号を書きなさい（同じ記号は二度以上使いません）。

ア はたと イ クスリと ウ ニヤリと エ ふらつと オ いそいそと カ おろおろと キ ズブズブと

問三 ア シ 力^ナに最も適当な身体の部分を表すことばを入れなさい（平仮名でもよい）。

問四 筆者の家庭には具体的にどのようなルールがありますか。ア 筆者が父母と暮らしていた時の家庭のルールと、イ 筆者が夫・子供と暮らしている今の家庭のルールを、できるだけ文中のことばを使って、それぞれ一つ、三つ、答えなさい。

問五 ————— 1、これは具体的に誰のことですか。

問六 ————— 2、ア 具体的に何をしたことに対してもうこう言つていますか。また、イなぜそれを「正しい判断だった」と考えているのですか。できるだけ文中のことばを使つて答えなさい。

問七 ————— 3、どのようなことを「考え込む」のですか。できるだけ文中のことばを使つて答えなさい。

問八 ————— 4、「眩しい世界」とはどこでどんな世界のことを言つていますか。文中のことばを十九字ぬき出して答えなさい。

問九 ————— 5、母が咎めなかつたのはなぜだと筆者は考えていますか。

問十 ————— 6、「悪ガキ二人が拾つてきた貝殻の音を想像していた」とありますが、ここでは具体的に母がどのような様子を想像していますか。筆者は考えていますか。

一〇一五年度 国語解答用紙 A日程

受験
番号

関西学院中学部（二〇一五、一、一八）

※この用紙には受験番号と解答以外は一切書いてはいけません。
いっさい
※句読点やその他の記号も一字と数えます。

問十	問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
							A	f	a
						B			
						C			
					D		g	b	
					E		h	c	
							d		
							e		